

# 近藤忍後援会 2014 年活動報告書

発行責任者  
後援会長 江野澤政広



渡辺新市長（左）と共に

2014年も後援会にご理解とご協力を賜り有り難うございました。  
近藤忍の議員活動も2期目の最後の年となり、6月に**第60代副議長**に就任しました。そして今春には2回目の改選を迎えることとなります。議員として今までの活動と地域や市政全般に係わる課題への対応が評価される事となります。後援会の皆様には、引き続き暖かいご支援をお願い申し上げます。  
なお、旧年中の報告は年始早々に送るべきものでありますが、選挙の情報を加えたため今年も2月に入ってしまったことをご容赦願います。

後援会長 江野澤政広

## 1. 渡辺市政への協力

3月に実施された木更津市長選挙において、**渡辺新市長**が誕生しました。近藤忍は当初より政策に共鳴し、応援して参りました。今後も行政運営を照査しながら支援していきます。新たな渡辺市政の目玉施策は次の通りです。

### 「市民活動」「企業活動」「子育て」の支援

今後のまちづくりは行政主体で行うのではなく、市民の社会参加と積極的な行動の積み重ねによって実現されるべきものと考え「市民活動支援センター」を設置し、老人クラブや子供会などの町内組織の活性化に向けた支援が始まります。企業に対しては、創業・出店の支援や人材活用を担う「産業支援センター」が設置され経済の活性化が図られます。子育て世代には「子育て支援課」を配置し窓口を一元化します。

### 効率的な行政運営の推進

建設価格高騰により市役所を新設せず、市内商業施設の空床部分の借用に舵を切るなど、財政力に見合った市政運営が進められています。今後は地域の意見が様々に分かれる難しい状況の中、学校や公民館の再編を進めることで将来に渡る継続可能な自治体運営が出来るものと、近藤忍も考えています。

### 未来へ向けたインフラ整備

7月には巖根駅前広場の整備が終わり、12月には今春からの**京葉線快速電車の停車が決まりました**。近藤忍としては、今後は総武線快速電車の停車に向けた活動が必要だと考えています。

観光・水道・火葬場・救急センター・障害者福祉・公設市場等については広域連携が推進されます。また、金田高速バスターミナルを整備し、基地周辺有休地へ総合運動場と防災拠点を誘致するなど、交通の利便性と市民生活の快適性を高める施策展開が行われます。近藤忍もそれらを応援します。



## 2. 副議長職としての活動



6月議会で近藤忍は副議長に就任しました。木更津市議会では副議長は一般質問を行わない慣例であり、就任前である3月議会では「多忙な年度末には議会質問を行わない」という持論を貫いた結果、近藤忍は1回も一般質問を行わない1年となりました。但し、委員会等では質問をしています。

近藤忍は一般質問をしませんでしたが、議会運営の諸調整を行うとともに**かずさ四市議会議長会**として千葉県に対する要望活動や「木更津市水道サービスセンター創設40周年記念式典」を始めとする各種団体等の行事に、木更津市議会を代表する立場で参加しました。4月末までが副議長の任期ですので、春の選挙期間中も重責を担い続けます。

### 3. 委員会や会派における活動

6月までは**建設常任委員会**の委員長を務め、副議長就任後も委員として木更津市の都市・土木・水道等の行政施策を担当し、中心市街地だけでなく市街化調整区域の活性化の対応、インフラの維持や区画整理事業の課題などを検討しております。また10月には佐賀県嬉野市の多目的ドーム建設事業、福岡県久留米市の優良建築物整備事業を中心とした市街地活性化施策の展開、福岡市の海水淡水化施設などを視察して参りました。

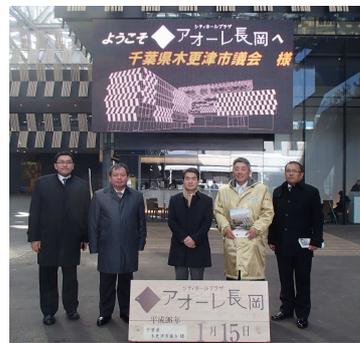


**市庁舎整備特別委員会**でも6月まで副委員長を務めておりましたが、新市役所建築から民間商業施設の空床に市役所を移転する方針に変わる中で、議会の対応をどの様に進めるか運営手法等の調整を進めました。

**基地対策特別委員会**は6月に委員を退きましたが、その後オスプレイの整備拠点化の話があり、今後の課題となりそうな状況です。近藤忍は基地の最寄り議員として事実関係の把握が重要であると考えています。

**議会運営委員会**では議会の民主的な運営に努めるとともに改革を進めている先進地を学ぶため、愛知県犬山市議会・三重県四日市市議会・福島県会津若松市議会・宮城県登米市議会を視察して参りました。

3月の**予算審査特別委員会**においては3日間の集中審議を行いました。水越市長の最後となる骨格予算の審議でしたが、今後の肉付け対応等について多くの質疑や意見を述べました。



議会選出の**農業委員会**と**都市計画審議会**の委員はともに7月で任期を終えましたが、任期中は農地や都市の様々な課題に取り組みました。

**会派羅針盤**としては、1月に新潟県新発田市で「食の循環によるまちづくり」、新潟県長岡市では駅前市街地への市役所移転事業を視察し、7月には岩手県紫波町で民間の資金や経営等の能力を活用する「PFI」によって建設される庁舎や火葬場の事業、岩手県宮古市で田老地区の被災状況を学習する「学ぶ防災」、青森県八戸市で災害時要援護者避難支援プランを視察して参りました。会派での取り組みは今年も「会派報」として発行し、元旦に新聞折り込みで各戸配布をさせていただきました。

### 4. 地域等における活動

**巖根駅に快速電車を止めよう！推進協議会**では事務局長を務めています。協議会の要望が叶い3月14日のダイヤ改正から京葉線快速が巖根駅に停車します。総武線快速の停車も求め引き続き関係部局と協議を進めて参ります。地域では様々な総会や文化祭・小中学校の学校行事等に参加し、意見交換を行いました。春の小櫃川さくら祭り・秋の矢那川彼岸花移植などでもスタッフとして活動しました。**農協の理事**も2年目に入りました。

### 5. 2015年の課題

教育や子育ての制度が春から大きく変わるとともに、金田東や千束台の区画整理事業が完成に近づき、秋には木更津市役所が市内2箇所の民間商業ビルに移動します。渡辺市長の元で変化に対応した市政運営が進む中で、**県議会議員を決める選挙が4月12日に、市議会議員を決める選挙が4月26日に行われます。**

市議会議員は**定数を28人から24人に削減**するため厳しい選挙となります。皆様のご協力をお願いします。

### 6. 後援会の案内と入会のお誘い

年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは公職選挙法で禁止されているので、本年も後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきました。後援会名簿を元に郵送をさせていただいておりますが、本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近藤忍の後援会へ入会を希望されるご友人等が居られましたら、氏名・住所・電話番号をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接ご訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メールにてご連絡願います。なお選挙を見据えて**3月29日(日)から下記の住所に事務所を開設**する予定です。是非ともお立ち寄り下さい。

**住所 木更津市江川 847 : 電話 0438-41-1605 : FAX 0438-41-1606 : メール info@sinobu.com**